

# 成増第二町会

成増は、明治5年には人口502人の村落であったという。大正3年に東武東上線が開通し、8年には各戸に待望の電灯がついたらしい。その後昭和58年に地下鉄有楽町線が開通し、高層マンションが建設され、商店街には大型店が出店と、さらに活気ある町へと発展している。

有楽町線開通を記念して始まった成増阿波踊り、地元出身の童謡詩人「清水かつら」を称える成増童謡まつりは、共に今でも盛大に開催されている。

今の成増の商店街入口辺りは、江戸時代、川越街道白子宿の一部を構成していたようで、当時の面影を残す道祖神や大山常夜燈、子育て地藏尊、天王様と呼ばれた八坂神社の祠が残っている。最近では、八坂神社の狛犬の設置、鳥居の建替えや子育て地藏尊の祠の改修等、これらの遺構の整備に力を入れている。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています